

平成25年度第2回 西木地域審議会会議録

日 時 平成25年11月11日（月）午後6時30分～午後8時34分

場 所 仙北市西木開発センター 二階 農林研修室

出席委員 門脇健郎会長、武藤晟平委員、佐藤一委員、阿部昭司委員、
武藤清茂委員、佐藤幸委員、赤倉祐子委員、

欠席委員

佐藤雄孝委員、橋本敦子委員、沢山純一委員、齋藤瑠璃子委員
鈴木富士男委員、橋本左武郎副会長、布谷和好委員

出席仙北市関係者

仙北市長 門脇光浩

総務部長 高橋俊一

総合産業研究所長 高橋新子

観光課長 草薨博美

商工課長 黒澤久美子

西木地域センター課長補佐 伊藤一智

企画政策課長 平岡有介

企画政策課参事 高橋信次

企画政策課課長補佐 草薨雅人

企画政策課主任 鈴木匡尚

- 会議次第
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 市長あいさつ
 - 4 案件
 - 1) 所得10%向上の具体策について
 - 2) 独自審議事項（テーマ）の決定
 - 5 閉会

企画政策課長

お足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、早速ですが、西木地域審議会を開催して参りたいと存じます。

議事の前まで、進行役を務めさせていただきます企画振興課長の平岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それではじめに、門協会長様よりご挨拶をお願いします。

門協会長

この度は、夜間の開催となりましたが、大変お疲れの事と存じますが、お集まりいただきありがとうございます。開催時期につきましても、もう少し早い時期での開催をと思っていたところですが、様々な理由により、今日となってしまいました。

会議資料につきましては、事前に配布されておりましたので、いろいろとご検討いただいていることと思います。次第に基づいて、事務局からの説明もあると思いますので、皆さんからの活発なご意見を頂戴して参りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

平岡企画政策課長

ありがとうございました。続きまして、門協市長が皆様にご挨拶申し上げます。

門協市長

ついに雪が降って参りました。このような中、6時半からの会議と言うことで、大変お疲れのところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

10月29日で、私の第一期目の任期を終えています。今回の選挙により、二期目の重責を担わせていただいておりますが、皆様にご意見等をいただくテーマの中には、一期目の公約である所得10%以上をなんとしても上げたいということについて、皆様からフォローアップしていただくということで、大変楽しみにしているところですが、二期目については、大きく4項目を掲げています。一期目の8項目40政策の内、所得10%向上のことについては、前期2年間分の検証は終わっていますが、残り2年間分については、統計数値等が未だということで、具体的検証はまだございます。しかるべき時期にまた検証し、皆様にご提示させていただきたいと思っています。

所得10%向上については、格差是正も含め市民皆様方は本気にお考えいただいていると思っております。しかし、誤解を招いている場面もたくさんあると思います。これは、所得を高めると言うことに走りすぎていて、精神的な面、文化的な面なものが、疎かになっていないかというようなご指摘がありますが、その部分についても、しっかりしていかなければならないとも思っています。

所得10%向上の必要については、機会ある毎に皆様にお話しをさせていた

だいていますが、できれば、目標設定として可処分所得を高めていって、自由に使えるお金を増やしていこうとの思いでしたが、大きな反省の一つは、行政が提案提示したものに対しても、これは、経済活動については行政が主体となってするものではなく、市民の経済活動をどれだけ高めていくか、それをどのように応援していくか、これについて、市民の皆様が届いていなかったという大反省をしています。しかしながら、まだ目標を達成できていませんので、二期目に向けても、更に継続して皆様と共に取り組んで参りたいと思っています。

今回の審議会のテーマは、大変重要なテーマでございますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

平岡企画政策課長

本日、出席しております職員を紹介します。

(職員紹介)

それでは、議事に移らせていただきますが、仙北市地域審議会の設置に関する告示第7条の規定に基づきまして、議長を門協会長にお願いし、以降の議事進行をお任せしたいと存じますので、よろしくお願い致します。

門協会長

それでは、早速議事に入りたいと存じます。案件の1について、事務局から説明をお願いします。

鈴木主任

資料説明の前に、今後のスケジュールについてご提案し、その後に資料説明をさせていただきます。

ご審議いただき、頂戴した所得10%向上の具体策については、平成27年度当初予算に反映したいと思っています。従いまして、皆様からのご意見は、来年9月までの間にとりまとめる必要がありますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、その具体策が有効であり、またゼロ予算でできるものなど、すぐにも取り組める策については、26年度事業として取り組めるよう関係各機関と情報を共有したいとも思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

なお、この審議会の内容については、会議録を作成し、皆様からご確認いただいた後に、仙北市のホームページにより公開したいと思っていますのでご了承ください。

それでは、お手元に事前配布した資料につきまして、ご説明申し上げますが、

事前配布ということもございますので、簡単な説明とさせていただきます。

なお、関係機関から職員が出席しておりますので、ご質問等がございましたら、お気軽にお願いします。

(資料説明)

門脇会長

説明が終わりましたので、ご質問やご意見を頂戴したいと思います。

佐藤一委員

新エネルギーへの参入の件ですが、LED とバイオマスの評価が気になりましたが、先行きはどうなっているのか？

高橋総務部長

市が設置している防犯灯・街路灯などについて、今年度から事業化し、随時取り替えを進めております。

このほかに、民間の、例えば町内会などが設置した防犯灯などについても、今年度から事業化し、今後10年間位でLED化を進めたいと動き出しております。

バイオマスについては、22年度において稼働しましたが、様々な問題があり稼働率が十分ではありませんでした。設備の増設なども行いながら改修し、改善はされてきていますが、当初の計画どおりの稼働となっていません。25年度予算において、大学の先生など専門の有識者を委員に、7月から検証委員会を立ち上げ、技術的な問題点などを検証を行っており、今年度中に検証を終えたいと思っています。

門脇市長

少々補足いたします。

小水力発電については、神代のわらび座付近の水路でモデル発電機を設置しておりますが、水路の枯れ葉など漂流物問題があるため、その問題解決に向けた取り組みを進めている状況です。

温泉熱については、神戸製鋼さんと進めています。

佐藤一委員

LED について、各集落の申込み状況はどうなっているのか。バイオマスについては、煙などの苦情もあると思うが。そういったことを、この審議会であ

からさまにしても良いのではないか。

門脇市長

隠し立てしようという気持ちはありませんし、ご質問いただければ我々が持っている情報は提供し共有したいと思っています。

高橋総務部長

LED については環境防災課の担当となります。地域の、全ての町内会などから申請があったかどうかは把握していませんが、とりまとめは終了したと聞いています。

バイオマスについてですが、煙について、臭いなども含め、近隣施設や住民の方々から苦情をいただいているところです。これについては、技術改善を含め設置業者が検討をしていると聞いています。

門脇市長

一度、煙突の高度を上げましたが、問題を解消することができませんでした。

佐藤幸委員

所得10%向上の具体策としては、既存の仕事で増加させるのか、または新しい仕事を作ると言うことか。

門脇市長

両方です。既存のものに制度的に応援ができて、生産量を増加させたり、新たな品目を栽培することができるようになったり、これは、企業についても同じで、制度資金の充実など、すべて総力戦で向上させていきたいと思っています。

佐藤幸委員

例えば、建設業なども同じか。

門脇市長

4年前に公約を作成しましたが、当時は民主党政権における「コンクリートから人へ」という動きの中で、公共事業が20%位削減されていくという報道もありましたが、これは国内における建設需要を減退させていく要因にもなったわけですが、これとは別に、社会保障費の拡充など良い側面もあったわけです。しかし、地方においては、その公共事業があるかないかで、経済状況が全

く違ってることがあります。その経済状況を高めるという意味から、公共事業を作り出すという考えもあって良いことだと思っています。施設の改修や病院建設も含め、施設改修は経済対策として行ってきたところです。

佐藤幸委員

会社員、サラリーマン等ではなく、自営業の方だとわかりますが。例えば農業とか。

門脇市長

農業については、伸び代のある分野だと思って、それに対する政策を打ち出していることもあります。サラリーマンの所得向上については、まさにアベノミクスにより、労使間の話し合いにはなりますが、経済活動が活発になり、会社が増収となれば、その利益が労働者に分配され所得が向上するものと期待しているところです。

武藤晟平委員

観光についてですが、内陸線の松葉駅から外国人も含めて、けっこう乗車しています。これは、田沢湖高原から来て、角館まで内陸線で行くコースがあるようです。しかし、内陸線に乗車しているだけで、地元にお金が落ちない。このような状況をなんとかして、地元経済を活性化させたいと思っていますが、なかなか有効な手段がないです。

草薨観光課長

内陸線については、TIC で商品開発しておりますが、内陸線の経営状況については、皆さんご存じのとおり、赤字が大きく大変厳しい状況にあります。ですから、とにかく乗ってもらい、利用してもらおうと頑張っているところです。内陸線を利用しながら、農家民宿での様々な体験など、また、これからの冬には、森吉山の樹氷だったり、春は深緑など、様々ありますので、とにかく内陸線に乗車してもらおうというところです。

韓国からの観光客については、映画の影響により増加してきたわけですが、最近では、台湾からの観光客も増えてきているところです。

高橋総務部長

内陸線関連の各種団体がありますが、そのうちの一つである地域公共交通連携協議会で、地域で乗車運動を進めている方、サポーターの方などで、10月に阿仁で一堂に会し、利用促進や沿線地域の活性化などについて情報交換を行

っています。11月16日には紙風船館で内陸線を様々に支援している団体が集まって内陸線支援団体情報交換会を開催し、地域の皆さんと一緒に何かやれないかなど、アイデアなど話し合われています。

門脇市長

地域公共交通連携協議会の活動の一つには、首都圏や仙台圏の旅行会社を訪問して内陸線を売り込んでおり、TICでの内陸線旅行商品のほか、大手旅行会社が、内陸線を活用しようという動きにかなり協力的になってきていて、例えば、五能線と連携したり、約94.2キロ全線に乗車しなくても、その一部分でも乗車してもらおうとしており、そのため、松葉駅からの乗降があったりしています。これにより、旅客数は伸びている状況にあります。今後は、西木地域からのイベントやこんなことがあるなどの素材・情報提供が求められると思います。

武藤晟平委員

女性が駅で饅頭を販売していたところ、韓国からの観光客だったと思いますが、大量に購入していました。このようなことを取り組んで行かなければならないと思います。

門脇市長

バター餅はすごいですね。

高橋総合産業研究所長

研究所としては、内陸線に特化した商品開発ではありませんが、観光地として、食べてもらう、買ってもらうというものをオール仙北で開発を進めています。例えば、白岩で生産している小麦を使ったパンですとか、お菓子だとか、麺類ですとか。また、花豆の商品開発を進めており、様々に商品が開発され販売されています。県の特産品品評展などにおいて奨励賞をいただいたりしています。

その他には、蕎麦ですが、転作の関係もあり、多くの品種が作付けされてきたわけですが、その食べ比べをメニューとして提供しており、大手ツアー会社様のご協力により、たくさんのお客様を送り込んでいただいている状況です。

武藤清茂委員

自身は退職しましたが、若者がなぜ居着かないかというところ、仕事が無いからで、ここに住みたいけれども仕事が無いのです。少ない給料でも臨時職員など

で雇わないと。無職の方を無くしていかないと。一生懸命やろうとしている人を支援していかないと。いろいろ施策は行われているようだが、学校給食においては、地産地消が進められていると思いますが、例えば、うちの野菜を学校給食に使ってもらえないだろうかとか、そういった窓口を広げていけばどうなのか。仙北市は3地区あるわけですが、ここ西木地区からはじめて、成功すれば他の地域にもというような、モデル的に行ってもいいのではないかと。

高橋総合産業研究所長

学校給食への地元産品の供給率は平成22年度においては27.3%です。これは、米を除いた野菜15品でして、重量で率が計算されます。23年度は32.4%、24年度は40%と、徐々に上がってきています。生産者と学校給食の間に農協さんに入ってもらっており、調整を行ってもらっており、学校給食側のニーズも生産者に伝えられるようになってきました。キャベツの雪下保存や、野菜の冷凍技術にも取り組んできたことも実り、供給率が伸びてきたものと考えます。

ただし、介護施設や保育施設などへの供給率が低いので、施設側との相談していきたいと思っています。

黒澤商工課長

産業振興推進条例を制定しまして、企業誘致などの取り組みを進めてきていますが、なかなか思うようにはというところです。若者を雇用するには、働く場所がないといけないわけで、若者がここに住みたくても住み続けることができない状況、企業を誘致できれば雇用が増えることにはなりますが、すぐに誘致ということは無理という状況です。

そこで、地元企業が一般の方や新卒者を採用した場合には、雇用創出助成金を支出して支援しているところです。それと、スキルアップのための助成制度もごぞいます。震災後、国の緊急雇用創出事業により市役所において臨時雇用しましたが、昨年は76人に一年間勤めていただきました。ただ、これは一年間というものですので、単発的なものでは、なかなか若者の流出を防げないと思っています。市内にどのような企業、事業所があるかを、高校1年生の時からお知らせしていかなければとも思っていますし、その企業や事業所の仕事内容、業績なども知っていただかないと、魅力ある企業、事業所なのかどうかも、高校生に知ってもらわないと、なかなか地元企業や事業所に目を向けてもらえないというところもあるのではと思っています。

門脇会長

各選挙の立候補者においては、雇用対策、福祉の充実などを第一、第二くらいに選挙公約にかかげますが、地元の仕事が無いために、長男でさえ転出してしまっている状況下において、それを踏まえた対策についてはどのように考えていますか。

門脇市長

二つあります。一つは、インスペックさんや芝浦電子さんなどの弱電電子デバイス関連の企業を、そういった業界を活性化させて従業員を増やしていこうとしています。この電子デバイス関連企業を地元企業として育成していこうと思っています。もう一つは、食品産業加工群を作っていこうと、仙北市は秋田県の加工業を担っていこうということです。イチゴ栽培だったり、畜産の肥育牛団地であったり、スープ原料の会社であったり。これらを拡大していきたいと思っています。上桧木内地区においては、大手漢方薬製造元との連携で生薬栽培が始まっています。決して、過疎が進む立地条件を負の条件とは思っておらず、そこだからこそ、これまで取り組みできなかったことを取り組めるというような対応をしています。既に試験栽培が始まってきていることに、嬉しく思っています。

スープ会社について言えば、そのスープ原料を活用したお菓子やラーメンを作りたいとの話もあります。これにより関連企業が張り付き、一つのネタから加工産業が数珠つなぎになって、雇用も創出されていくものだと期待しています。

高橋総合産業研究所

生薬の栽培について、大手漢方薬製造元は生薬の栽培場所を国内に求めており、ここ仙北市の取り組みとマッチングしまして、現在、3軒の農家の方々が取り組みを始めました。春には本格的に拡大していきたいと、栽培希望者も増えてきています。

門脇会長

将来的に見込みがあって、若い人も取り組める、収益も上げられるというものであれば、良いと思います。

佐藤一委員

日本人は薬好きなので、この取り組みは良いと思います。

門脇市長

こちらのやる気を理解していただき、専門の職員の方を派遣してもらったりしています。

門脇会長

我々の世代、またはその下では、跡とり問題が顕著だ。空き家も多くなってきています。仕事が無いと駄目ということです。

阿部昭司委員

実際、人参の栽培を行っていても、次を担う若者が出てこない。作付面積が少ししかない米だけでは食っていけない。TPPの問題もあるし、これ以上価格が下がったら、本当に米だけで食えるのか。だから、別の作付けを考えなければなりません。どうしたら良いのかと、別の視点から考えて取り組む、そうやって取り組む若者がいないと、高齢者も元気にならないと思います。いつまでも高齢者が若者を引っ張って行ってもしかたがない。若者が高齢者を引っ張っていく仕組みが必要ではないでしょうか。

門脇市長

生活給を担保するから若者に生産組合や会社を興してみないかとか、農業版ベンチャーみたいなモデル的なこともできないだろうか、そこに行政が支援できないだろうかと思っています。その成功を若者に広げられたらと。成功しなくても、若者は次の道が考えられます。

雇用対策がうまくいけば、若者たちがここで生活をし、その若者たちが結婚をし、子供が生まれます。少子化対策の出発地点は雇用対策だと、職員の方々と一緒に取り組んでいます。なかなか突破口を切り開けていないのが現実です。

門脇会長

2か月や3か月、若者を市役所で臨時雇用しても、何も雇用対策にはならない。それよりは、林道でも道路でも造るための費用として、業者に仕事を出した方が、こういった山間地域では雇用対策になるのではないかと思います。そして更には企業誘致だと思います。若者の起業も必要だと思いますし、それを喚起するのも行政の役目だと思います。

門脇市長

白岩では青年農業者を増やしていこうという取り組みがあります。会長が言われるように、市役所の臨時雇用についても、有期の雇用では次の就職が難し

かったりします。市の事業を会社に委託するという事ばかりではなく、市民に受けてもらう、というような雇用増加も考えています。市職員数もここ数年で激減し、市民に対する行政サービスがこれまで同様に行えるのか、それを早い段階で市民の皆さんに担って貰う、当然対価があつてのことですが、そういったことを見据えた組織改編を来年度には行っていきたいと思っています。

武藤晟平委員

仙北市で緑の雇用はありますか。

門脇市長

2、3年前には、間伐など緑の雇用を増やせないかということをご提案したことがあります。様々な補助金があるので、緑の雇用ということではないと思います。

門脇会長

このほかにありませんか。

平岡企画政策課長

最終的には、意見を集約し市長に答申したいと思っております。

門脇会長

それでは、次に、西木の独自審議テーマについての決定です。事務局から説明してください。

鈴木主任

統一した審議事項である所得10%向上具体策について、のほかに、各地域において様々な問題や課題を抱えているということから、各地域審議会それぞれに独自テーマを設定して、その問題や課題の解決策についてご提言していただくよう、先に行われた合同地域審議会でも説明しています。本日は、その独自テーマについて決定していただきたいと思っていますので、よろしく願いします。

門脇会長

様々にあるかと思いますが、これは27年度予算に反映されますか。

門脇市長

早急に取り組みが必要だということがあれば、26年度中にでも、補正予算でということもあろうかと思います。

鈴木主任

補足ですが、これまでの審議されたテーマについて申しますと、18年度には仙北市総合計画策定について。19年度には定住人口3万人の確保と交流人口1千万人の具体的方策などの重点プロジェクトについて。平成20年度からの二か年度においては、西木地域においては、農林業と観光について、グリーンツーリズムの推進や事業連携による地域活性化について。そして22年度からの二か年度においては、3地区共通で地域防災のあり方について、を答申や提言していただいています。

門脇会長

独自テーマと言うことですが、ここ西木地域としてはどうでしょうか。

過去には観光について話し合われたことがあります。ここ西木地区は角館や田沢湖のような大観光地ではありません。それでも、湯尻・相内湯は西木の観光地で、田沢湖を眺望できるすばらしい場所であると地域住民は知っています。しかし、観光客はそこまで行っていないのが現状です。指定管理者の件もありますが、観光協会としての関わりはどの程度を想定しているのでしょうか。

門脇市長

会長がイメージしているものは、今の状況では施設の利活用が高いとは言えないだろうということだと思います。指定管理者の通常管理・運営の範囲ではなく、西木観光協会が事業主体となって底上げを図っていくという取り組みは、指定管理団体がどうだということではなく、必要な取り組みになっていくだろうと思います。

門脇会長

これまで、多くのお金を投資し整備した場所でありながら、なかなか管理が行き届いていないのではないかと思います。

西木地区の唯一の観光地であり、草刈りもされておらず荒れ放題です。観光協会の立場で、管理団体にどこまで話していいのかということもあります。

門脇市長

指定管理者に管理をお願いするのか、観光協会に新たな事業として願います

るのか、市として利活用を高めるために改修するとか、いろいろあると思いますが、一番駄目なのは、お互いに見合っていて何もしないということだと思います。これは一度整理しなければいけないと思います。

門脇会長

市の方針を明確にしていれば動きやすいと思います。

門脇市長

瀧前山森林公園に限らず、このようなお話しはいろいろあります。そして、様々なお提案もあります。

門脇会長

利活用については、様々な方法があるかと思いますが、市として頑張ってもらいたいと思うし、それがテーマでもいいのではないのでしょうか。

門脇市長

田沢湖の観光も角館の観光も西木の観光も、それぞれ違うわけです。今まさに着目されてきている里山ツーリズムのウォーキングやトレッキングだったり、まさに西木地区は最適であり、田沢湖や角館の観光でできない観光を西木でということは大切なところだと思います。

門脇会長

気持ちはわかりますが、誘客に結びつけることは簡単ではないと思います。

門脇市長

仮に瀧前山森林公園の再生とか、独自テーマでもおもしろいのではないのでしょうか。

赤倉祐子委員

瀧野から瀧尻までのあの曲がりくねった県道はどうにかならないものなのでしょうか。

門脇市長

県道として改修してもらうことが一番だと思います。大型観光バスからは相当の苦情があります。県としては、その必要をどのくらい認識しているのか。この道路を改修するよりも相内瀧の道路を使うことを想定しているのかと思います。

ます。

門協会長

独自テーマについて、他に何かありますか？

全委員

ありません。

平岡企画政策課長

それでは、潟前山森林公園の再生、整備、活用について、ということでいかがでしょうか。

全委員

(異議なし)

門協会長

そうすれば、このテーマに決定します。

平岡企画政策課長

今後のスケジュール等について、事務局から若干お話しさせていただきます。

鈴木主任

夜遅くまで誠にありがとうございました。今後は、会議録の作成、独自テーマに関する資料整備などを進め、次回は年明けの開催を予定しております。どうぞよろしくお願ひします。

門協会長

年明け前に、潟前山を視察してはどうでしょうか。

門協市長

雪が降る前に行った方が良さだろろうと思います。

平岡企画政策課長

日程を調整させていただき、ご案内いたします。

門協会長

潟前山の件は、事務局にお願いします。みなさん、遅くまでありがとうございました。

(20:34 終了)